

## 鈴鹿の風 明石 孝利 議員

### 南海トラフに向けてバイク防災隊を

(質問) 本年1月に南海トラフ地震の発生確率が引き上げられ、防災への取り組みは急務の課題である。阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震などの大災害時において、バイクによる防災隊が迅速性・機動性・省エネ性といった特性を発揮し、活躍した。本市はモータースポーツのメッカとして、またモータースポーツ都市宣言をして

いる全国唯一の都市として、有用性の高い“バイク防災隊”を組織すべきではないか。加えて、本年は「8時間耐久レース」の開催40周年であり、これを機に結成し、全国にバイク防災隊の範を示すべきではないかと考えるがどうか。

(答弁) 災害時におけるバイクは非常に有効であると認識しており、南海トラフ地震による大災害の対策において、バイク防災隊は重要な防災の連携団体となるものと考えている。

その他の質問 ○県下初の中小企業振興条例の制定を

## 市民クラブ 大西 克美 議員

### 南海トラフ地震に備えた「減災」を検証

(質問) 南海トラフ地震発生後の避難所の確保について、収容人数を増やすため、小中学校の教室を活用してはどうか。

(答弁) 津波浸水予測区域外の小学校や中学校、市立武道館、公民館などの54施設を避難所として開設していく計画であり、54施設の収容人員を21,161人としている。これは、三重県の南海トラフ地震の被害想定調査結果である、地震発

生から1週間後の避難所への避難者想定数約19,000人を収容することができるようになっていく。

ただ、教室のエアコン設備は災害弱者に非常に有効な設備である。そこで、基幹収容避難所となっている学校については、学校関係者と協議の上、状況に応じて教室を避難所として活用していくことも必要であると考えており、教室の活用を弾力的に進めていく。

その他の質問 ○在宅不登校生への学力支援について

## 常任委員会調査事項

常任委員会では議案や請願の審査とは別に、各委員会が所管する事務についての調査を行っています。

平成29年度に調査する事項は次のとおり決定しました。

### 総務委員会

- 1 災害時の復興計画について
- 2 公共施設マネジメントについて



### 文教環境委員会

- 1 教職員の業務改善について
- 2 ごみの減量と資源化について
- 3 学校規模適正化について
- 4 学校給食会計について

